「社会貢献活動の支援に関する指針」
改定素案の概要（やさしい版）

1　「社会貢献活動」ってなに？

- 自分から進んで、お金をもらうためではなく、だれかや地域のために行う活動です。
- たとえば、まちのそうじ、子どもの見守り、お年寄りの手助け、自然を守る活動、災害ボランティアなどがあります。
- 一人で行う活動も、グループや団体で行う活動もあります。活動に参加するほか、お金や物をおくって（寄付して）応援する方法もあります。

2　この「指針」ってなに？

- 岩手県が、社会や地域のために行う活動をどう応援していくか、その基本となる考え方をまとめたものです。
- 市町村や、活動を応援する団体などにも、この指針を参考にして、地域に合った応援をしてもらいたいと考えています。



3　どうして見直すの？

この指針ができてから25年以上がたち、人口が減ったり、働き方や暮らし方が変わったり、インターネットなどの利用が広がったりしました。

また、例えば、次のような問題があります。

活動に参加する人が少ない

活動に参加したくても、方法が分からなかったり、時間が合わなかったりして、参加できない人がいます。また、どんな活動があるのか、知らない人もいます。

活動を続ける人や、お金などが足りない

活動する団体では、中心となる人の年れいが高くなり、次に活動を引きつぐ人や、活動に使うお金などが足りないことがあります。

人や団体のつながりと、災害へのそなえが必要

県、市町村、ＮＰＯ（お金もうけを目的としない、社会や地域のために活動する団体）、会社、学校などが、得意なことを生かして協力することが大切です。災害が起きたときに助け合えるよう、ふだんからつながりを持つことも大切です。

そこで、社会貢献活動がこれからも続き、

活動に参加したり応援したりする人が増えるよう、

令和９年度からの10年間に取り組むことをまとめます。



4　どんなことに取り組むの？

① 活動を知り、参加しやすくします

どんな活動があり、どうすれば参加できるかを分かりやすく知らせます。学校などで活動について学んだり体験したりできるようにします。短い時間や休日、インターネットで参加できる方法も知らせます。

② 活動を知ってもらい、応援の輪を広げます

活動の大切さや活動で良くなったことを伝えます。活動に参加する人や、寄付などで応援する人を増やします。

③ 活動する人や団体を支え、つながりを広げます

困ったときに相談できるようにし、団体の大きさや活動の様子、困っていることに合った応援をします。活動に必要な人、場所、お金、情報を得るための手助けをし、人や団体が力を合わせられるようにします。

④ 災害にそなえ、助け合えるようにします

災害が起きたときに助け合えるよう、県、市町村、ＮＰＯなどが、ふだんから必要なことを知らせ合い、役わりや連らく方法を確かめます。東日本大震災津波などで起きたことや学んだことを伝え、災害のときに人を助けられるようにします。

この指針が大切にすること

いろいろな人や団体が力を合わせ、
活動に参加する人や活動を応援する人が増え、
その輪が続いていくようにします。

この指針をより良くするために、どんな活動をしてみたいか、どうすれば参加しやすくなるかなど、みなさんの考えを聞かせてください。

意見や感想の送り方



送り方	● 郵送（手紙やハガキ）の場合 あて先に「〒020-8570　岩手県環境生活部　若者女性協働推進室」と書いて送ってください。住所は書かなくても大丈夫です。 ● ファクス（FAX）の場合 「019-629-5354」の番号にファクスを送ってください。 ● 電子メールの場合 「AC0006@pref.iwate.jp」までメールを送ってください。
意見や感想の書き方	・意見や感想の書き方は自由です（決まりはありません）。 ・　ファクスや電子メールを使って意見や感想を送るときは、県のホームページにある記入様式【やさしい版】を使うと便利です。 https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1097882/index.html